

胎内市立中学校における適正規模 に関するアンケート集計

令和 3 年 8 月
胎内市教育委員会

アンケートの概要

対象及び回答数：中学3年生（192）及び中学校教職員（66）

実施期間：令和3年7月12日から7月21日まで

胎内市では、中学校における適正規模（学校全体としてどのくらいの学級数が適切なのか、1学級当たりの生徒数はどれくらいが適切なのか）を検討しています。

生徒の皆さんの考えをお聞かせください。

※ どうしても答えられない部分は空欄のままで構いません。

【中条中】 中条中学校の3年生は、4学級132名（1学級あたり33名）と、胎内市では大きな規模です。

【乙中】 【築地中】 【黒川中】 ○○中学校の3年生は、1学級○名と、胎内市では小さな規模です。

1、2 大規模校、小規模校 それぞれの長所と短所 【生徒】

	大規模校	小規模校
長所	①クラス替えがあり、いろんな人と出会える。 ②多くの人とかかわりが増え、関係が深まる。 ③たくさん人がいると競争が生まれる。 ④個人の考え方が多くあるため、意見交流が活発。 ⑤多くの人と話すとコミュニケーション能力が上がる。 ⑥いじめが起こっても別の居場所を見つけやすい。 ⑦行事のスケールが大きく、盛り上がる。 ⑧班活動や交流活動が多くできる。 ⑨部活が多いところ。	①クラスが明るく、いじめのない仲の良い学年になる。 ②昔から一緒にいる仲なので全員の仲がよい。 ③お互いのことをより深く、詳しく知れる機会がある。 ④ほとんどが顔見知りだからあまり不安を感じない。 ⑤学習に集中できる。 ⑥先生方の教えがしっかりいきわたる。 ⑦人数が少ない分、先生が一人一人をみてくれる。 ⑧他学年との交流がしやすい ⑨移動や避難がすぐにできる。
短所	①全員が仲よくするのはとても難しいと思う。 ②全員をまとめるときに時間がかかる。 ③多くの個性があるので、人と人のぶつかりがある。 トラブルが多く発生する ④一人一人に向き合うのが難しい。 ⑤集団で生活していくのが苦手な人にとって動きづらいところ。 ⑥授業中などにうるさくなることがある。 ⑦集団での行動や移動に時間がかかる。 ⑧災害が起きたとき逃げづらい。	①クラス替えの楽しみがない。 ②クラス内で嫌なことがあって他のクラスに話に行きたくてもできない。 ③ずっと同じメンバーだから社会に出た時に不安。 ④高校に行って、知っている人が誰もいないときに対応ができないかもしれない。 ⑤行事が盛り上がらない。 ⑥委員会の人数も少なく、仕事が回らなくなる。 ⑦テストなどで競争心がないところ。 ⑧部活動の数が少ない。部員も少ない。

1、2 大規模校、小規模校 それぞれの長所と短所 【生徒】

	大規模校	小規模校
長所	クラス替えがある たくさんの人とのかかわり 子どもの居場所がつかれる 行事スケール大 部活運営可能	まとまり容易 仲が良い 先生の日や声が届く 移動や避難が容易
短所	まとまりに困難 トラブルが多い 先生の指示に従えない生徒 移動や避難に時間がかかる	クラス替えなし かかわりが無い 子どもの居場所がつかれない 行事スケール小 部活運営困難

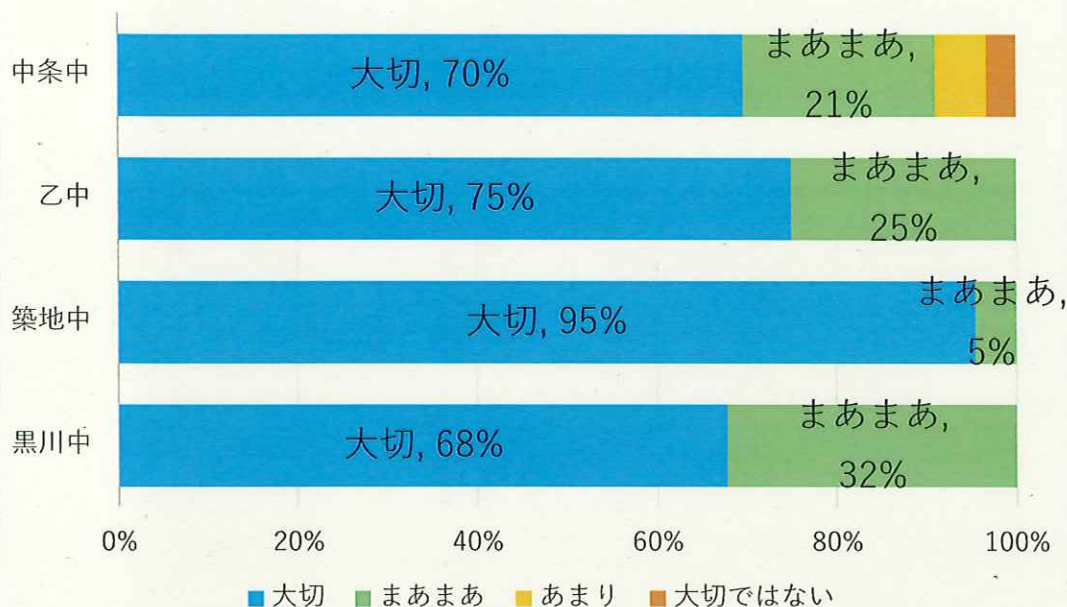
1、2 大規模校、小規模校 それぞれの長所と短所 【教職員】

	大規模校	小規模校
長所	①クラス替えにより多くの生徒同士で関わりがもてる。 ②いろいろな人と出会いかわることができる ③生徒が居場所をなくしても新しくつくれること。 ④教科担任が複数となるため教科部内での意見交換が可能となり教科指導にプラスとなる。 ⑤学級単位で他学級と競い合うことができる。 ⑥学年間の交流を活発化できる。行事が盛り上がる。 ⑦部活動の種類が多く設置できるため、生徒の選択の幅が広がる。 ⑧職員が多く分掌が一人につき少なくてすむ。	①学校中の生徒の個性等が分かるので、きめ細かな指導ができるところ。 ②大規模校では埋もれてしまうような生徒も活躍。 ③全校生徒の顔と名前を覚えられる ④一人一人の生徒に目配りができる。 ⑤フットワークのよさ。臨機応変な動きがとれる。 ⑥保護者・地域と連携しやすい。 ⑦異学年間の縦の交流がやりやすい。 ⑧教師一人当たりの授業時数が少ないので、余裕をもって仕事ができる
短所	①一人一人に目が行き届かないのではないかという不安が教師も生徒・保護者もある。 ②人間関係が複雑になり多くの問題が発生する ③消極的な生徒、恥ずかしがり屋の生徒の能力が埋もれがち。 ④ミーティングを行って共通理解を図らないと生徒への対応がバラバラになるところ。 ⑤職員間の連絡調整が図りづらい。 ⑥活動の計画・準備が大変。小回りがきかない。 ⑦多様な生徒・保護者への対応。	①問題があってもクラス替えができない。 ②ずっと子どもたちが幼いころから同じ人間関係の中に置かれ、新たな人間関係を構築する経験ができない。 ③居場所をなくした子は新たに人間関係を作りにくい。 ④多様な考えに触れる機会が少なく切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 ⑤教科によっては免許所有者がいないため、免許外の教師が指導することになる。 ⑥部活動の数が限られ選択の幅が狭い。 ⑦教職員1人1人の役割が多く、多忙になりがち。

3(1) 校内での学年を超えた交流活動は大切だと思いますか

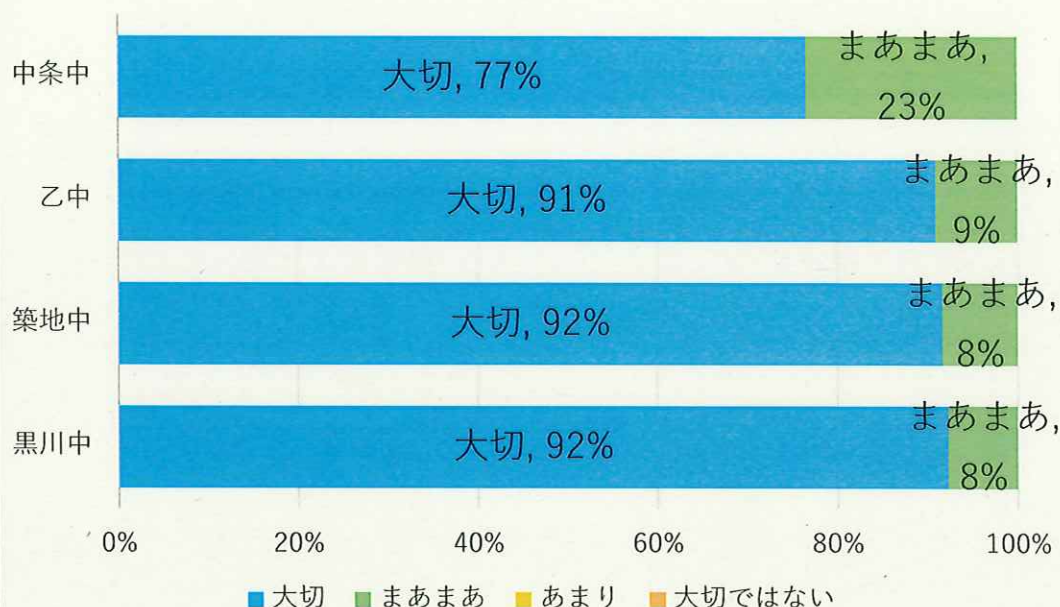
生徒も教職員も大切と考えている。学校を良くする活動と認識。

生徒



	大切	まあまあ	あまり	大切ではない
大規模校	70%	21%	6%	3%
小規模校	79%	21%	0%	0%
総計	73%	21%	4%	2%

教職員



	大切	まあまあ	あまり	大切ではない
大規模校	77%	23%		
小規模校	92%	8%		
総計	85%	15%		

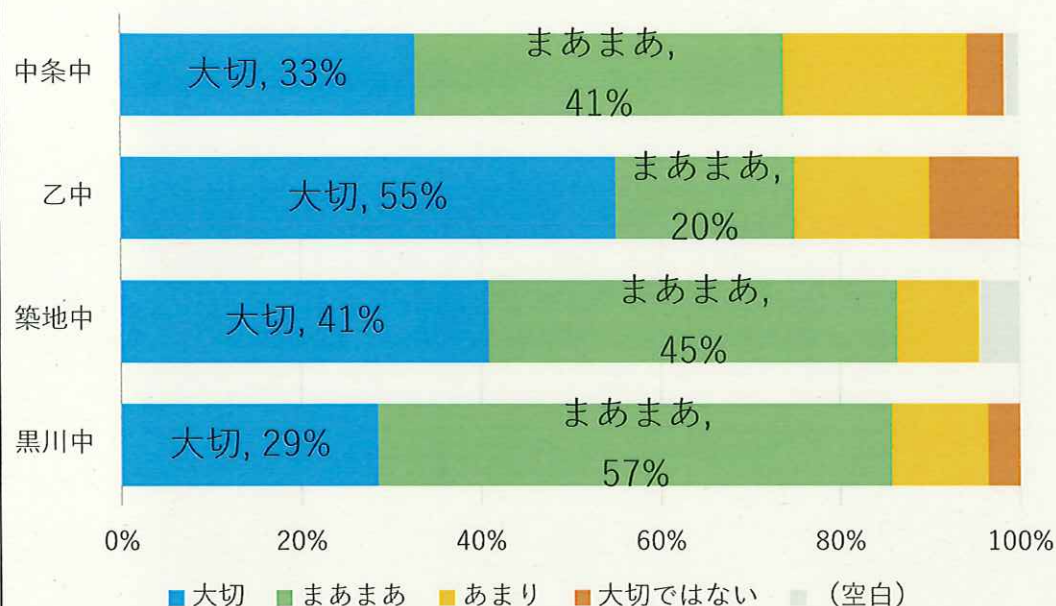
3(1) 校内での学年を超えた交流活動は大切だと思いますか

	生徒	教職員
長所	①上下関係を意識することで、将来仕事に就いたときに役立つ。 ②他学年との交流を通じてそれぞれの立場にあった接し方が身に付く。 ③学校全体の結束力が高まるから。 ④同学年の意見だけでなく他学年の意見も大切だと思うから。 ⑤コミュニケーション能力の向上につながるから。 ⑥年が違う人との交流は社会に出たときに生かせると思うから。	①やはり上下関係を学ぶ場として大切。 ②リーダー性、自己有用感、上下関係の感覚を育むうえで重要。 ③部活に入らない生徒もいる中で先輩から学ぶ貴重な機会だから。 ④先輩に対する尊敬、後輩に対する思いやる心が育つ。 ⑤社会に出てから年齢の違う人とのかかわり方もあるので。 ⑥下級生が上級生から学び、上級生も下級生を導く事で学校・地域の連帯感が育まれる。
短所	①正直気まずかったりふざける生徒が出てくるのでやめてほしい ②深まるのは企画した一部の人だから	なし

3(2) 市内他校との交流活動は大切だと思いますか

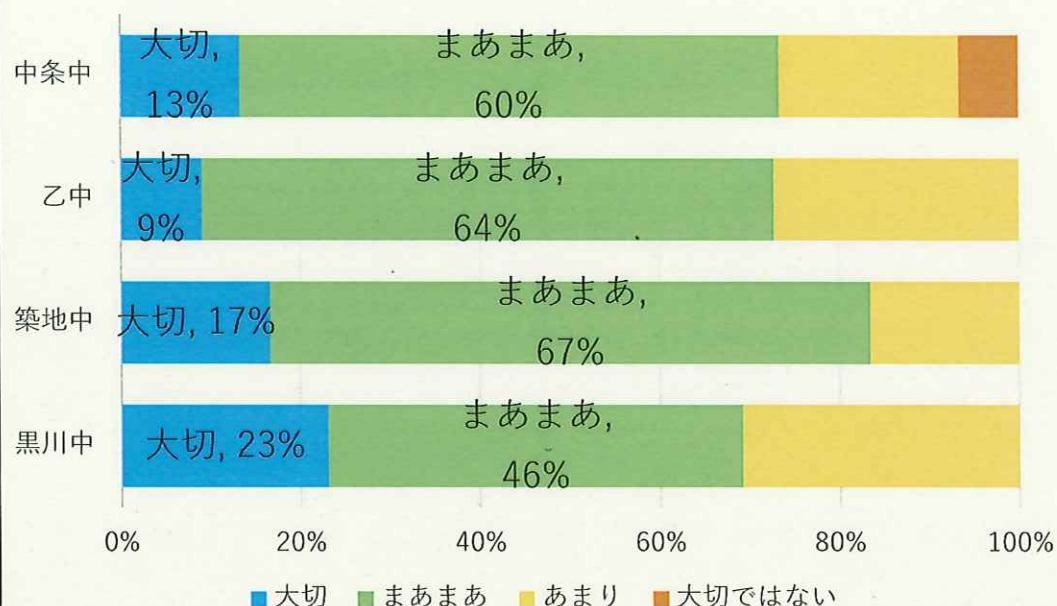
「大切」が少なく「まあまあ」が多い。具体的なイメージがなく、多忙化イメージが先行。

生徒



	大切	まあまあ	あまり	大切ではない	(空白)
大規模校	33%	41%	20%	4%	2%
小規模校	40%	43%	11%	4%	1%
総計	35%	42%	17%	4%	2%

教職員



	大切	まあまあ	あまり	大切ではない	(空白)
大規模校	13%	60%	20%	7%	
小規模校	17%	58%	25%	0%	
総計	15%	59%	23%	3%	

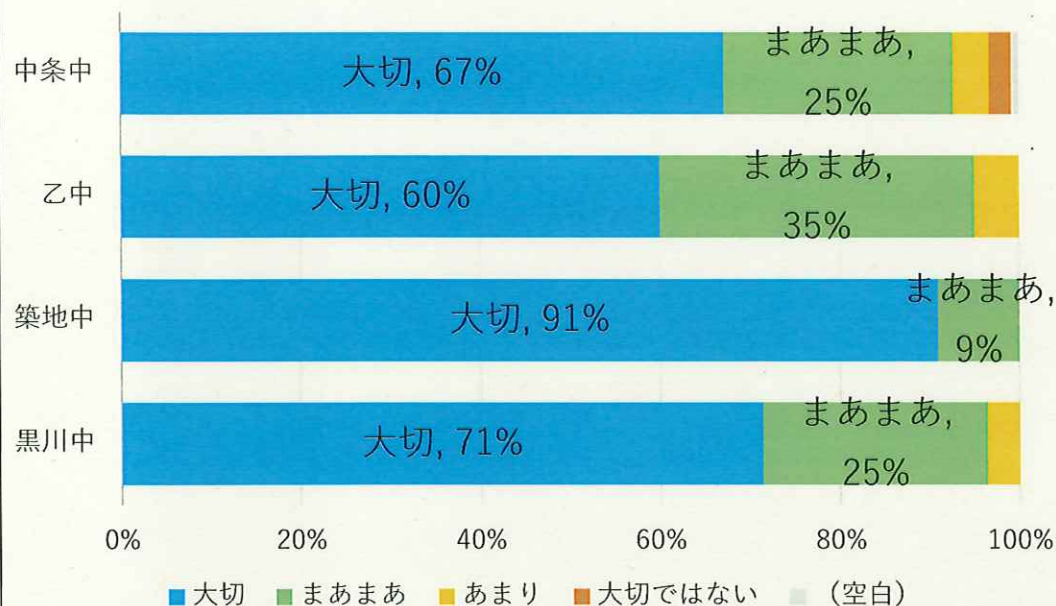
3(2) 市内他校との交流活動は大切だと思いますか

	生徒	教職員
長所	①高校で一緒になったら過去に交流を持っていた方がいいと思うから。 ②他校の人と交流することによってコミュニケーションをとれるから将来につながる。 ③他校に自校のいいところを伝える。 ④合同ですることは、胎内市を盛り上げることに繋がる。 ⑤他校との違いが分かる。他校の取組を知り、今後に生かせる。 ⑥新しい友達ができるかもしれないから。	①自校だけではわからないことを知るチャンス。 ②いろいろな人と出会う良い機会になるから。 ③小規模校の子どもたちは外の世界を見る、知ることが普段できないため、経験させたいから。 ④生徒会活動の交流で刺激が得られる。
短所	①交流したとしてメリットがあまりないと思うから。 ②人見知りする人は知らない人に話すのは大変。 ③初めて会う他校の人と何かをしてもただただ気まずそう。 ④結局同じ学校の人と固まるのがほとんどだから。 ⑤打合せが大変だから。まとめるのが大変。	①刺激にはなるがそれほど必要を感じない。 ②大切だが行事、交流等が多すぎると授業時数などに影響が大きすぎる。 ③活動内容にもよるが、生徒指導上のマイナス面が大きい。 ④余計な人間関係、つながりが増えてしまいそう。 ⑤手間に対する効果が低いと感じられる。 ⑥教師の負担感が増えていく。 ⑦SNS、塾などで生徒同士は結構つながっている。 ⑧部活動で十分やっている。

3(3) 地域とかかわる交流活動は大切だと思いますか

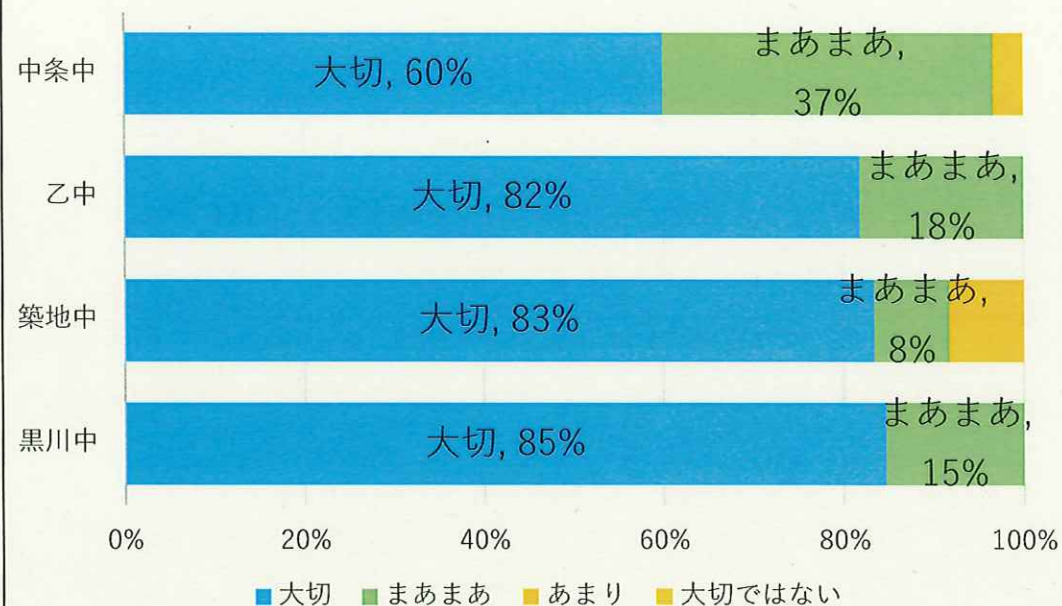
生徒も教職員も大切と考えている。生徒にとって必要な活動と認識。

生徒



	大切	まあまあ	あまり	大切ではない	(空白)
大規模校	67%	25%	4%	2%	1%
小規模校	74%	23%	3%	0%	0%
総計	70%	24%	4%	2%	1%

教職員



	大切	まあまあ	あまり	大切ではない	(空白)
大規模校	60%	37%	3%		
小規模校	83%	14%	3%		
総計	73%	24%	3%		

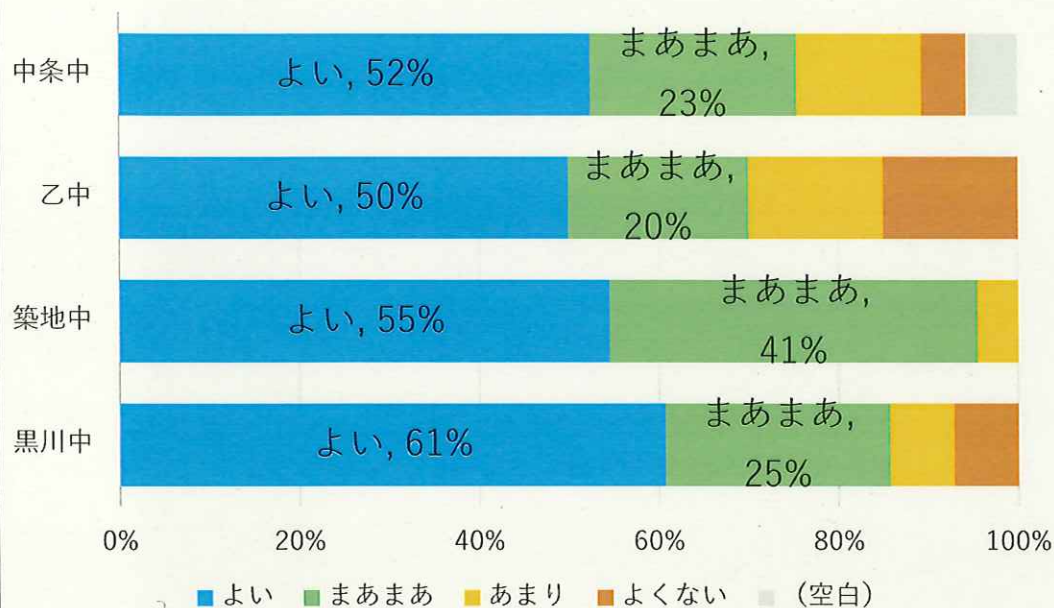
3(3) 地域とかかわる交流活動は大切だと思いますか

	生徒	教職員
長所	①地域のことを知ることは大事だから。 ②地域の人たちがいて学校が成り立っているから ③地域の人を助けることができるから。 ④地域について関心を高めることができたり、地域との結びつきが高くなって、より「愛される学校」にできると思うから。 ⑤コミュニケーション能力が身に付くと思うから。 ⑥これから社会に近づいていくので、言葉遣いや行動を学べる。 ⑦地域活性化につながるから。	①学校での活動がないとなかなか地域の良さに触れる機会がない。 ②地域の方とかかわることで自分の地域を知り、大切にしようとする気持ちが生まれる。 ③自分が暮らしている地域を知り、貢献したいという思いを育てることは大切だと思う。 ④地域の中の学校の意識高揚。地域の方から学校の活動を理解してもらえる。 ⑤将来前向きに地元で生活できる人間を増やす効果がある。
短所	①別に将来胎内市から離れる人には関係ないから。 ②地域の人が面倒。 ③根本的にまず自分らの学校をよくすべき。	①もっと外に出た方がよい。市内だけでは狭い。

4 将来、胎内市内の中学校が…(1) 今のまま、4つの中学校を存続

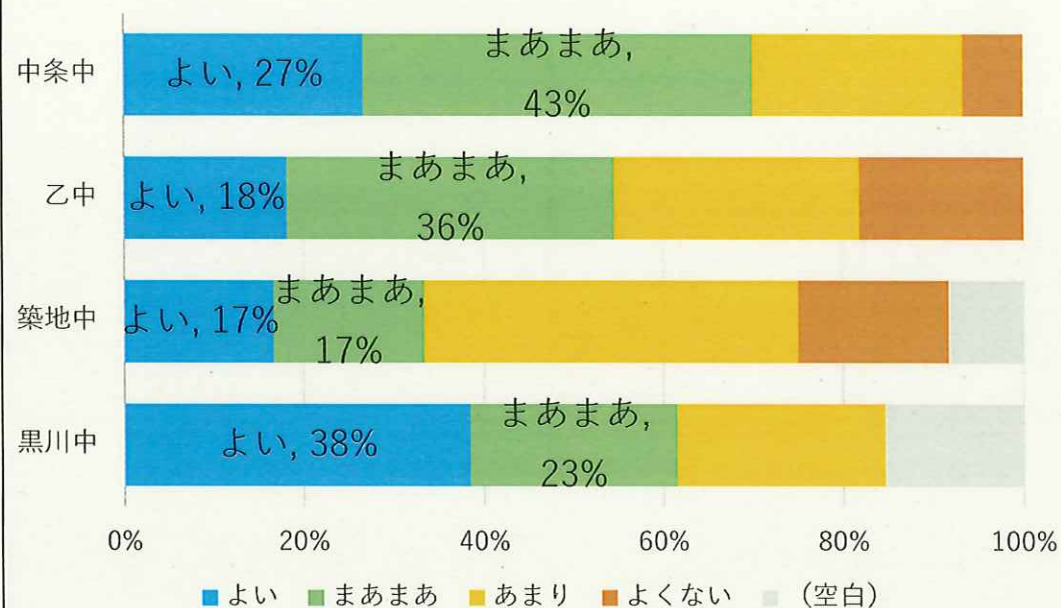
生徒は存続を望む。4校それぞれのよさを残すことに価値を感じている。

生徒



	よい	まあまあ	あまり	よくない	(空白)
大規模校	52%	23%	14%	5%	6%
小規模校	56%	29%	9%	7%	0%
総計	54%	25%	12%	6%	4%

教職員



	よい	まあまあ	あまり	よくない	(空白)
大規模校	27%	43%	23%	7%	0%
小規模校	25%	25%	31%	11%	8%
総計	26%	33%	27%	9%	5%

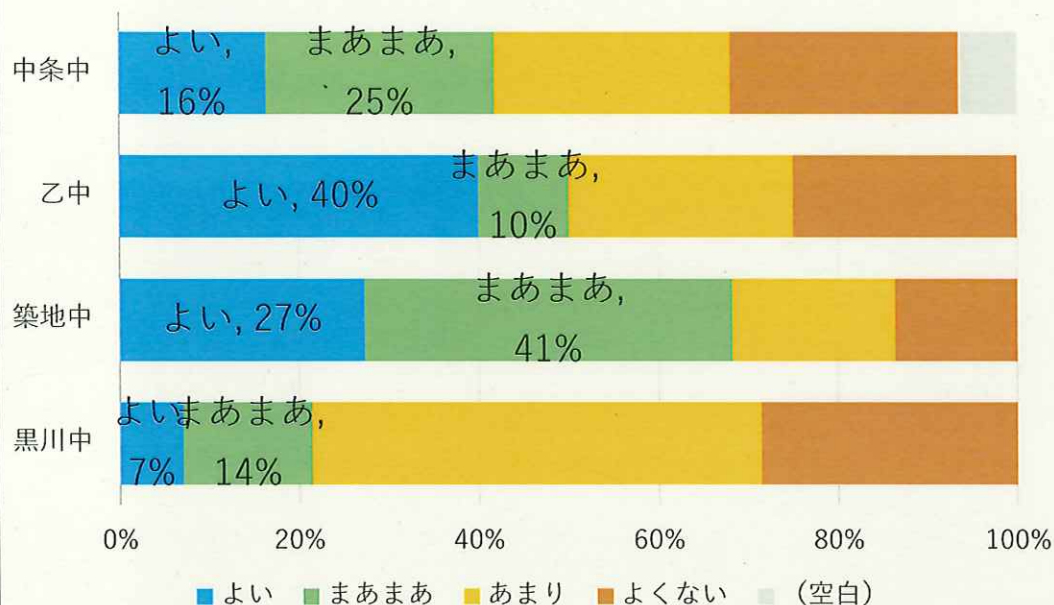
4 将来、胎内市内の中学校が…(1) 今のまま、4つの中学校を存続

	生徒	教職員
長所	①今までの学校の雰囲気、校舎の特色を残したい。 ②1つ1つの学校には歴史がたくさんつまっていると思うし、それぞれの良いところがあると思うから。 ③それぞれの学校独特の文化が消えてしまうのは悲しいから。 ④自分の住んでる近い地域の学校に行くことができる。 ⑤近くて通学しやすいからいい。 ⑥このままであってほしいから（どうしようもなかったら仕方ない）。 ⑦今のままでも楽しいから ⑧生徒数と予算の減少が止められれば問題ないと思う。 ⑧自分の地域の活動などにも参加ができる。	①それぞれの地域の学校の存在は地域にとっても大きな意味があるように感じる。 ②それぞれの学校の特色があり大切にしていきたい。 ③地域とのつながりが残るから。 ④小規模校はきめ細かな指導ができるので。 ⑤以前、2校の統合に伴うある中学校の閉校に立ち会った。2つの地区の生徒を収容できる新校舎が完成したのちも、2つの地区の方々の間で議論が紛糾し、結局A中学校とB中学校が統合したのは、A中学校の新校舎が竣工してから約10年後となった。少子化に伴う生徒数減少が看過できないほどになったらやむを得ないと思うが、現状の生徒数から大きく減らないようであれば、4つの中学校を存続しても良いと考える
短所	①いずれ人数が足りなくなる学校が出ると思うから。 ②人数が少ないと高校にいったときに慣れるのが大変。 ③生徒数が少ない学校はコストがかかるから。 ④部活の部員の人数が減ってくるから。	①部活が成り立たない。 ②最低でも学年2学級以上が望ましと考えるから。 ③さらに小規模になり活動自体も小さくなっていく。 ④財政的な負担が大きい。

4 将来、胎内市内の中学校が…(2) 小中学校を1つの校舎に設置

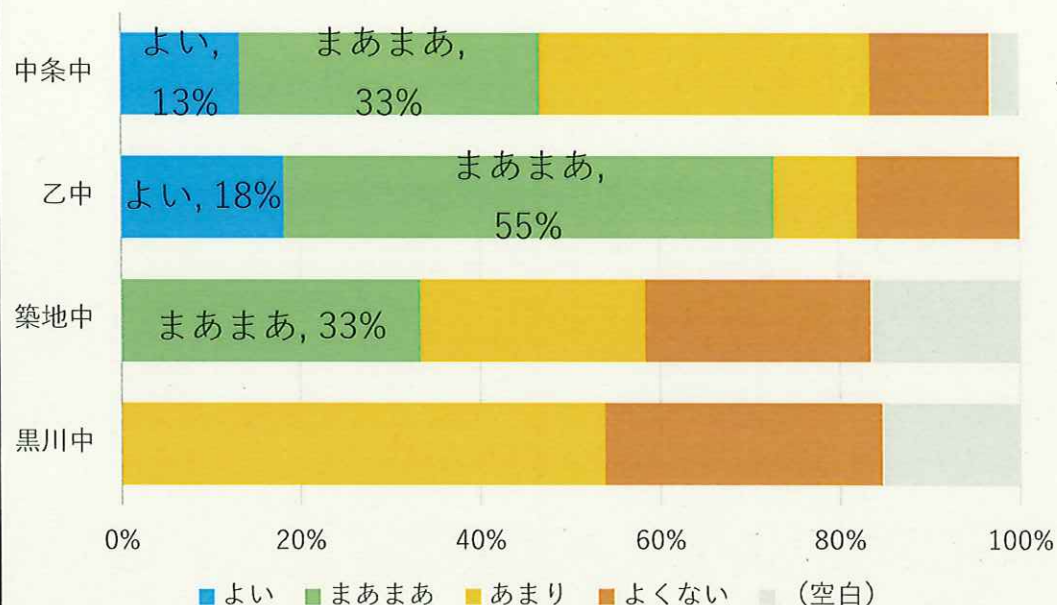
生徒、教職員ともに評価は高くない。環境を変えることの価値がある。

生徒



	よい	まあまあ	あまり	よくない	(空白)
大規模校	16%	25%	26%	25%	7%
小規模校	23%	21%	33%	23%	0%
総計	19%	24%	29%	24%	4%

教職員



	よい	まあまあ	あまり	よくない	(空白)
大規模校	13%	33%	37%	13%	3%
小規模校	6%	28%	31%	25%	11%
総計	9%	30%	33%	20%	8%

4 将来、胎内市内の中学校が…(2)

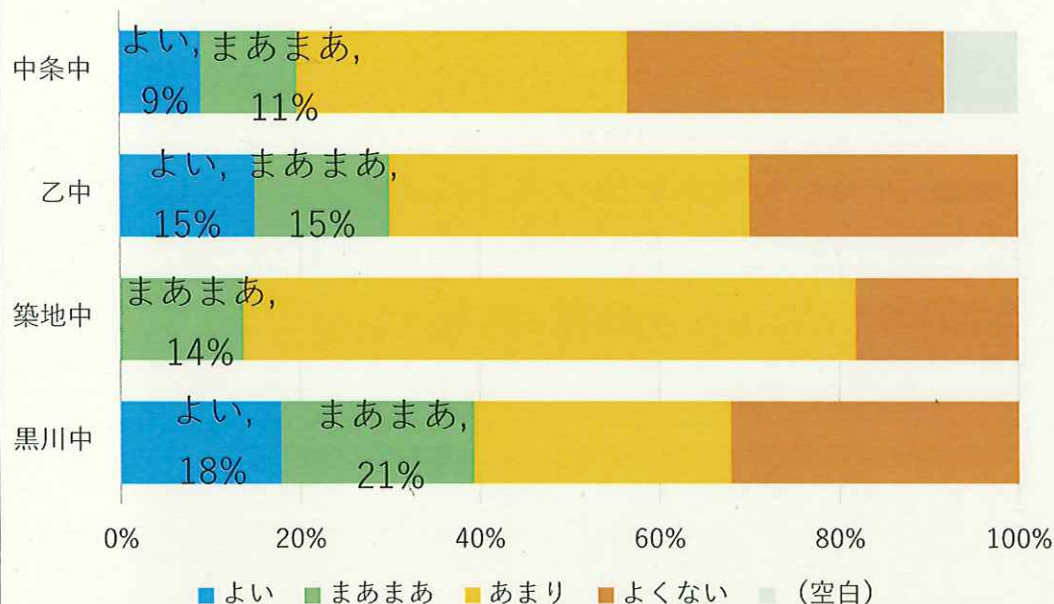
小中学校を1つの校舎に設置

	生徒	教職員
長所	①学年を超えた交流ができるし、中学生側の教え方も上達すると思うから。 ②小中学校が1つになることで今とは異なる活動や行事ができると思うから ③小学生が中学生になるときのイメージができやすい。 ④自分の成長につながる。	①中学校をこのまま存続させるならこれも1つの案かと思う。 ②連携や9年間を見通した教育課程が編成しやすい。 ③地域の学校として文化の保存にも力を発揮することができる。 ④小中の様子が見られ、スムーズな引継ができる。
短所	①小中が一緒だとしっかりした上下関係が作れない。 ②小6が中学生を頼り、リーダー性がなくなる。 ③小学生の楽しそうな声などで勉強に集中できなくなると思うから。 ④小1の体格と中3では、結構行動に気を使わなくてはならない。 ⑤小学校を卒業して中学校に行くとき校舎が変わらないと、自分が変わるきっかけを見つけられなそう。 ⑥中学生が小学生をいじめることもあるかもしれないから。 ⑦中学生の負担が増えると思うから ⑧グラウンドや体育館の取り合いになり、小学生が使えないから。	①私はかつて小中一貫校に勤務した。小学校職員と中学校職員の指導方針の相違や、行事に小中学生がともに参加することによる混乱が見られた。 ②小学生にとってはメリットがあると思うが、中学生にとっては負担でしかないから。 ③小学校6年生が最上級生としてのリーダーシップが発揮しにくくなる。 ④高校とのギャップが激しくなるような気がする。 ⑤小学校卒業で気持ちを切り替える機会がなくなる。 ⑥中学生が小学校の施設を使うことに無理があるのではないか。机の高さ、トイレ、体育館の広さなど。 ⑦小学校の時程と中学校の時程が違い、休み時間がバラバラで授業がやりにくい。部活の時間はどうなるか。

4 将来、胎内市内の中学校が…(3) 市内4つの中学校を1つに

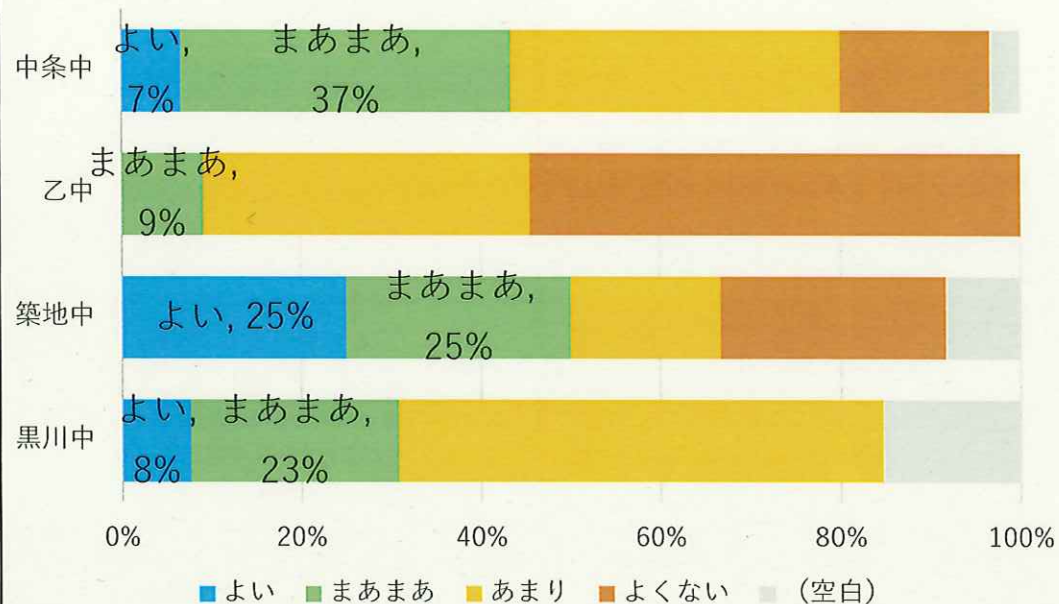
生徒の評価は低い。各中学校の価値が消滅することを心配。

生徒



	よい	まあまあ	あまり	よくない	(空白)
大規模校	9%	11%	37%	35%	8%
小規模校	11%	17%	44%	27%	0%
総計	10%	13%	40%	32%	5%

教職員



	よい	まあまあ	あまり	よくない	(空白)
大規模校	7%	37%	37%	17%	3%
小規模校	11%	19%	36%	25%	8%
総計	9%	27%	36%	21%	6%

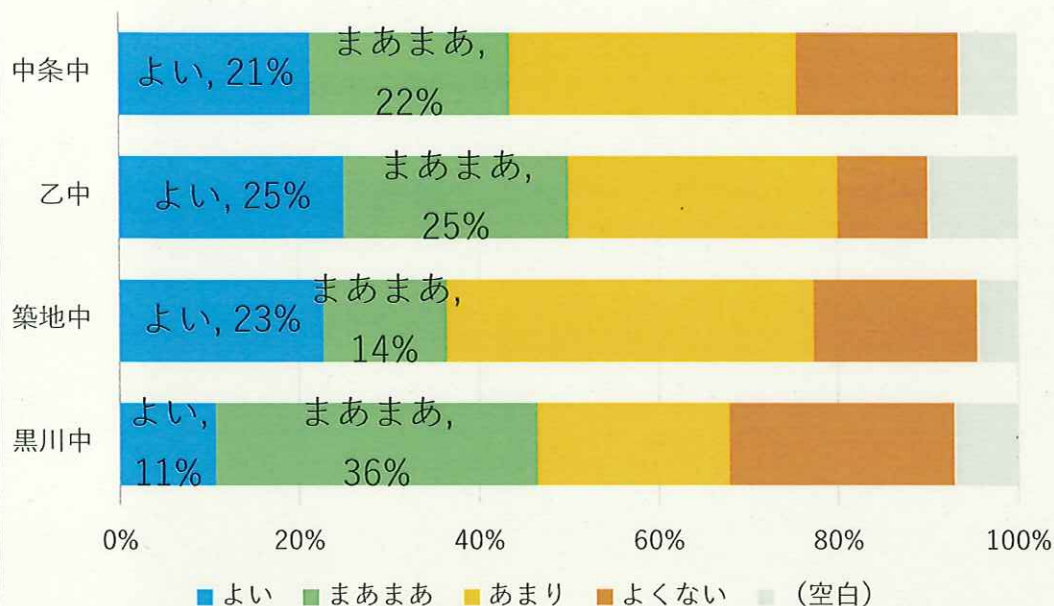
4 将来、胎内市内の中学校が…(3) 市内4つの中学校を1つに

	生徒	教職員
長所	①多くなれば楽しいと思うし、高校に行った時もギャップを感じにくいと思う。 ②出会いの場が多くなっているし友達も増えるから。 ③たくさんの人とかかわりをもてるいい機会だと思う。 ④部活も人数の増えるから。	①小規模校では幼少からの人間関係を再構成できる。 ②長期間継続できそうな形態だから。 ③10年後、20年後を考えれば、この選択肢しかない。 ④10年後になれば4校合わせても400人を割る人数となり1学年4クラスで一番運営しやすい規模になる。 ⑤プレスポの近くに学校を作ってバス通学ができるとうい。 ⑥部活動の選択肢が広がる。
短所	①1つ1つの学校には歴史がつまっているし、それぞれに良いところがあるから。 ①登下校するのが大変な人がいると思うから。 ②人数がすごく増える。そんな人数で一人一人がまじめに学習できるとは思えないから。 ③他校の人とはあまりかかわらないで今まで一緒にいた友達とばかり話すと思う。 ⑤出身小学校の派閥がおこる。 ⑥中条の人だけいっぱいいる感じになると思うから。 ⑦人が多すぎていじめが増えそう。	①広域すぎるのではないか。 ②学区が広すぎて通学や部活を考えると不安要素も多い。 ③規模が大きくなりすぎる。登下校が難しい生徒がいる。 ④バスの運行などで放課後の活動が制限される。 ⑤中1ギャップが大きくなり不登校が増えることが予想される。 ⑥地域の中の学校の姿や役割は大きいと思う。

4 将来、胎内市内の中学校が…(4) 乙中、築地中、黒川中を1つに

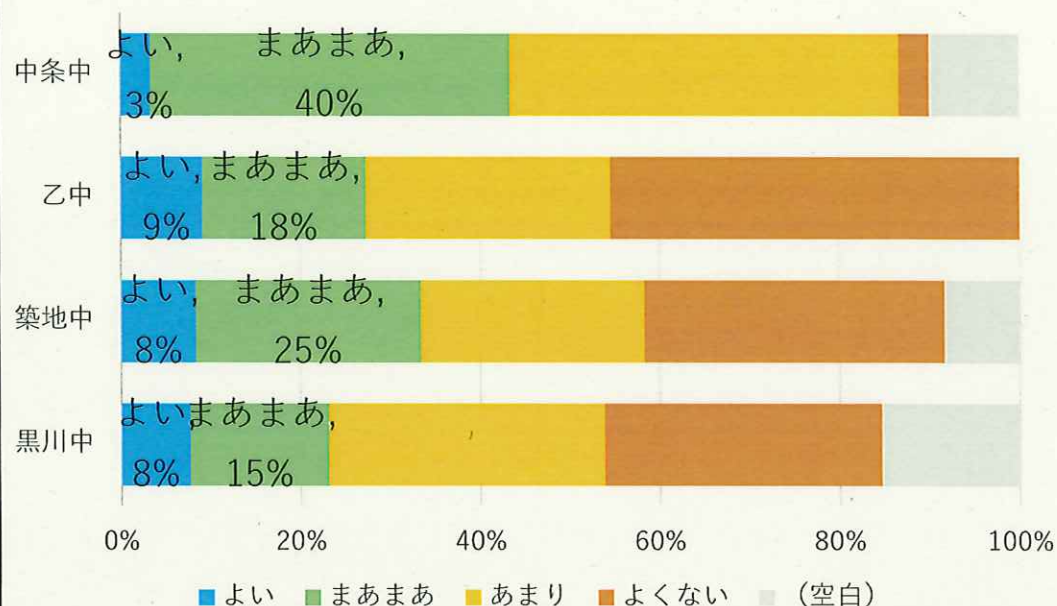
小規模校教職員の評価が低い。通学とともに学校の設置場所を心配。

生徒



	よい	まあまあ	あまり	よくない	(空白)
大規模校	21%	22%	32%	18%	7%
小規模校	19%	26%	30%	19%	7%
総計	20%	23%	31%	18%	7%

教職員



	よい	まあまあ	あまり	よくない	(空白)
大規模校	3%	40%	43%	3%	10%
小規模校	8%	19%	28%	36%	8%
総計	6%	29%	35%	21%	9%

4 将来、胎内市内の中学校が…(4)

乙中、築地中、黒川中を1つに

	生徒	教職員
長所	①人数的にととても良いと思うので、学びが深まると思う。 ②人数の差がなくなるし、人数が少なすぎて不便ということも少なくなるから。 ③中条中を入れると多すぎる気もするから。 ④築地黒川乙と中条中の2つで対等な関係になって部活ライバルになれるから。	①人が増えることは活気が高まってよいと思う。 ②規模的に現実的でよいと思われる。
短所	①自分の住んでいる地域をもっと大事にしたほうがいい。 ②人数が少ない中学校は人数が多い中学校とは別の良さがあると思うから。 ③伝統とかを全部引き継ぐことができないから。 ④3つの中学校が1つの学校になると登下校で困る人が出てくると思う。 ⑤いじめが起きてしまう可能性があると思ったから。 ⑥人数の関係だろうけど、中条中がそのままなら外の3校も平等に扱ってほしいから。 ⑦1つにするなら4中学校全部したほうが良いと思ったから。	①3校を1つにする場合、やはり校区が広域すぎるのではないかな。 ②どこに学校を設置するか難しい。 ③3校を1つにし、1校を残すことは、学区割として不自然に思える。 ④合併する中学校の地域性の確保が難しい。 ⑤3校の中心は胎内小の近くになるが、中条中に近い位置になるので学区外通学が増えるように思われる。 ⑥20年後くらいを考えると100人を切り、さらに合併が必要になる。

5 将来の胎内市の中学校について思ったこと【生徒】

このままがいい。少ないからこそ学べることや得られることがあると思うから。少ないからこそそのびのび生活できて、1人1人の個性を出して学校生活を送れるから。

胎内市で過ごした学校生活は最高でした。人数も大切だけど、それぞれの学校のよさ、伝統をこわさないようにしていただいたらうれしいです。

もっと今ある学校をちょくちょくメンテナンスすれば新しい校舎を建てるよりも安く、環境への負担がより少ないと思います。なので今あるものを長く使えればよりよいと思います。

人数が少ない中学校と多い中学校などそれぞれに違いはありますが、このまま変わらず1つ1つの中学校の良さを生かして残して行ってほしいなと思います。

中学生が小学生に勉強を教えるということを年に1回くらいやってみたい。

部活動がないという理由で他の中学校に行く小学生がいるので、できれば地元の中学校に来てほしい。

部活の種目数が多い方が良くと思う。部活でやりたくても部活がなく、校外でしている人が増えているから。

部活動を合同にすればいいと思う。

少人数、1クラスの半分くらいで学習したいと思った。特定の教科だけでも。

将来ぼくが胎内市にすごいものを作って胎内市の人口が増えるのでこのままの形でキープしてください。

5 将来の胎内市の中学校について思ったこと【教職員】

幼少で一緒に生活した子たちが中学校で他の学区や学校と合流することが子どもにもよい。

中学校は4校とも校舎が老朽化しており、修繕による経費が年々増加している。一番経費がかからないのは新設中学校の校舎を作ることだと思う。今から準備を進めても土地の確保や地域への説明など最速でも15年はかかると思う。あと15年で生徒がどれだけ減少するか、校舎が保持できるかを考えると早く決断した方が良いです。

小規模校の運営には教員の大きな負担になる。働き方改革と言われつつも時代の流れと逆行している。

たとえ人数が少なくなっても地域で育てる方がよい。ネットなどで4校がつながって教育活動ができるのではないかな。

小学校から変わらない人間関係では学べることも学べない。この時期に新たな出会いがあっても戸惑いながらも関係づくりをしていくことは成長過程で大切です。複数の小学校が1つの中学校に集まるという形をなるべく早く作ってほしいです。

中条中学校を2つに分けるのはなしですか？胎内小、築地小、きのと小→A中、中条小、黒川小→B中のように。

統合するなら乙中と築地中、中条中と黒川中が現実的だと思う。ただ、地域の理解が得られるかどうか。

可能であれば各地域の中の学校ということで各学校を存続し、部活動については自然体で活動していけるような体制がとれるとよい。

まず部活だけ。人数が足りなくてできないスポーツがあるので、そこから始めたらいいと思います。